

訂正

(誤)瞬時停止

(正)瞬時電圧低下

## 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 18 日  
東京電力株式会社

## &lt;タービン建屋地下のたまり水の処理&gt;

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

## [処理設備]

- ・H24/1/16 12:12 第二セシウム吸着装置を起動。12:17 定常流量に到達。
- ・H24/1/17 16:10 頃 夜ノ森線1、2号の瞬時電圧低下の影響により、セシウム吸着装置の停止を確認。
- 1/17 18:42 セシウム吸着装置を起動。18:45 定常流用に到達。

## [貯蔵設備]

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/15 14:57～1/17 14:10 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/15 14:48～1/17 14:14 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・1/18 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (1/18 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 4,547 mm(水位上昇累計: 5,764 mm) 1/17 7:00 から 14 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,844 mm(水位上昇累計: 3,570 mm) 1/17 7:00 から 442 mm 下降

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/18 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (1/17 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,246 mm (1/17 7:00 から 15 mm 上昇)	O.P.+ 4,165 mm (1/17 7:00 から 8 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,922 mm (1/17 7:00 から 41 mm 上昇)	O.P.+ 2,913 mm (1/17 7:00 から 36 mm 上昇)	O.P.+ 3,063 mm (1/17 7:00 から 17 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,065 mm (1/17 7:00 から 15 mm 下降)	O.P.+ 3,016 mm (1/17 7:00 から 43 mm 上昇)	O.P.+ 3,288 mm (1/17 7:00 から 33 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,005 mm (1/17 7:00 から 24 mm 下降)	O.P.+ 3,025 mm (1/17 7:00 から 26 mm 下降)

## &lt;放射性物質のモニタリング&gt;

## 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	1/17	8:40	ND	0.03	0.04
福島第一 1～4号機放水口南側約330m	1/17	8:20	ND	0.04	0.03
福島第二 3,4号機放水口付近	1/17	8:30	ND	ND	0.01
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	1/17	8:10	ND	ND	0.01
福島第一北放水口約550m(無人調査船)	1/16	13:11	ND	0.02	0.01
福島第一港口約300m(無人調査船)	1/16	13:20	ND	0.02	0.02
福島第一南放水口約600m(無人調査船)	1/16	13:28	ND	ND	0.01

・その他福島県沖合7地点(1/16採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (1/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.0
2号機	循環冷却システム	運転中	12.6
3号機	循環冷却システム	運転中	12.6
4号機	循環冷却システム	運転中	21

- [3号機]・H24/1/14 15:18～ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。  
 ・H24/1/17 16:10 頃 夜ノ森線1、2号の瞬時電圧低下の影響により、使用済燃料プール代替冷却システムおよび放射性物質除去装置の停止を確認。  
 17:15 使用済燃料プール代替冷却システムを起動。  
 19:04 放射性物質除去装置の運転を再開。

< 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (1/18 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.5m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m <sup>3</sup> /h)	26.1	26.5	107.2 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.0m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約6.8 m <sup>3</sup> /h)	47.6	50.9	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.9m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約5.9 m <sup>3</sup> /h)	45.0	53.4	101.6 kPaabs

- [1～2号機]・1/18 9:53 原子炉への注水量の変動が確認されたため、以下のとおり調整を実施。  
 1号機:給水系からの注水量を約 4.8 m<sup>3</sup>/hから約 4.5m<sup>3</sup>/hへ炉心スプレイ系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/hから約2.0m<sup>3</sup>/hへ調整。  
 2号機:給水系からの注水量を約 2.4 m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 7.5m<sup>3</sup>/hから約7.0m<sup>3</sup>/hに調整。  
 [3号機] ・1/18 9:43 原子炉への注水について、高台炉注水ポンプの注水配管切替に関連し、給水系からの注水量を約 1.9m<sup>3</sup>/hから約3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約7.5m<sup>3</sup>/hから約6.0m<sup>3</sup>/hに変更。  
 [4号機][5号機][6号機]・特に変化なし

< その他 >

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5、6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。  
 ・H24/1/11～ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。  
 日々の点検結果については別途参考配布資料を参照  
 ・H24/1/18 15:00 免震重要棟前に設置してある、連続的に空気中の放射性濃度を測定する測定器(連続ダストモニタ)において警報が発生。  
 15:11 警報を受け、全面マスク着用の運用に基づき、作業員へ全面マスク着用を指示。その後、モニタリングポストに有意な変動はないことを確認。  
 15:40 測定器のフィルタを交換し、リセット操作により再起動。免震重要棟前における手動での空気中の放射性物質濃度の測定の結果、免震重要棟前における空気中の放射性物質濃度は検出限界値未満(検出限界値:1.4×10<sup>-5</sup>[Bq/cm<sup>3</sup>])であり、全面マスク着用基準値(1×10<sup>-4</sup>[Bq/cm<sup>3</sup>])以下であることが判明。  
 15:56 全面マスク着用省略可能である通常の運用へ戻す旨を指示。

以上